

有明高専だより

第39号
有明工業高等専門学校
〒836・大牟田市東萩尾町150
Tel 0944 53 1011
印刷・久留米軽印刷(有)

昭和五十四年の新春年頭にあたり所感を申し上げます。

第一期は創設期で、志願者は多く、教官は新興の意気に燃え、学生は勉強意欲旺盛で、卒業生は引張り風、帆一ぱい風をはらんだ船出にたとえることができます。

第二期は志望者が逐年減少、袋小路的制度とか、硬直過密のカリキュラムとかの批判が、高専内部からも外部からも聞かれた、高専曲り角の時期であります。

第三期に入つた数年前から志願者は漸次増加し、編入生の門戸開放、特に編入定員の枠を設ける大学の増加、さらに最も明るいニュースは高専卒業生のための大学院大学二校が長岡、豊橋に開校されたことでもあります。

私共は高専卒業生の進路開拓に努力するはもちろん、同じく若年の卒業生のためには、高専四年編入の道を開き、既に相当数の編入



年頭所感

学校長 轟 一郎

者を受け入れました。

第二期における高専カリキュラム批判に際して、文部省は高専内外多くの意見を聴き、高専設置基準の基本的な改正を行いました。この改正の特微的な点は、(1)単位(2)履修と修得の区別(3)選択制の導入にあります。

従来の授業総時数に代り、各授業科目ごとに学習量を単位であらわしたので、年間三〇時間の授業を教官が行ない、学生は聴講し、試験をうけ、これによって一単位の履修となり、試験合格によつて一単位の修得が得られます。

また選択制が認められたことは、大きい意義を持つものであり、時代の求める教科を積極的にとり入れるならば、学生の勉強意欲振起の引金ともなり、高専の前途はいよいよ明るくなると信じます。

この改正は現在の一、二年生に適用されています。

二、有明高専創立二十周年記念事業のこと

本校は昭和三十八年四月二十日の創立であるから、昭和五十八年四月二十日創立二十周年を迎えることとなります。成人に達することになります。

二十周年を迎えるに当り、誘致、創設に尽力された方々の苦勞を偲び、二十年の間に高専に寄せられた好意に感謝するはもちろん、高専創設の理念を想起し、併せて本校将来の展望を考えることは大変意義あることと思います。

それとともに本校の充実発展のために役立つ事業を行うことも考慮すべきであろうと考えます。

三、地区体育大会のこと

本校は五十四年七月開催の九州A地区体育大会の当番校であります。五十五年からは、九州地区体育大会はA・B両地区が一本化しますから、A・B両地区に分れての大会はこれが終ります。

本校はそのしめくくりの大会を担当するので、有終の美を成すよう力を合せて頑張ります。

有明高専創立二十周年記念事業について

学校長 轟 一郎

卒業生の皆さん
後援会の皆さん
在校生諸君
教官、職員の皆さん

昭和五十八年四月二十日私共の有明高専は創立二十周年を迎えます。本校が成人に達するわけであり、有意義な成人の御祝いをしようではありませんか。

創設からの二十年間をふり返るとともに、皆さんの総力を結集し、将来に残る力一杯の事業をやらうではありませんか。

人事異動

十二月一日付

▼転任▲
事務官 吉田隆男
(九州大学医学部へ)

▼新任▲
教授(化学) 田辺伊佐雄
(日本重化学工業(株)より)

54年度新入生オリエンテーション予告

来年度も天草青年の家で実施することになった。5月31日(木)から6月2日(土)の2泊3日である。少し遅すぎるようであるが、青年の家の都合で止むを得なかった。まだ見ぬ新入生であるが十分効果を上げるよう期待する。

今般御縁あつて工業化学科に教授として赴任致しましたので、御挨拶を自己紹介をさせていただきます。生れは一九二五年五月、本籍は山口市の片田舎で、花神、大村益次郎出生の地の隣村に当ります。大学の前は宇部工業から宇部工専で、戦時中の事として工専の二年の時は学徒動員で宇部興産へ、三年になつて学校に帰ると間もなく終戦でした。

新任の御挨拶にかえて

工業化学科 田辺 伊佐雄

工専卒業は終戦直後の九月、当時敗戦の混乱の中で、山口県の下松工業で教師をしながら入試を待つ次第でした。大変な時代ではありましたが、暗きながらも世界文学全集や岩波文庫をゲテツルゲネフと読みあさり、化学や金属の発達を歴史小説にしたシエンチンガリの名作、アニンや金属の発刊もこのころで夜を徹して読み耽り、化学と我が人生などと考えた

プロセスの革新に当り、肥料分野でニトロフミン酸塩を開発して岩手県で工業化し育成致しました。此の間三六年前に先生方のお世話でマンガン鉄製錬をスラグ中心に学位論文にまとめさせていただきました。

度となくかけ廻り多くの町や人々と接した事も良い思い出です。国内での其後の仕事は、クロム鉱石の還元ベレット化とホットチヤージによる新法法の確立と八幡での工業化、製品のメルトでの供給ですが多少のたつきの後予定通り完成し、新日鉄はそれによつてステンレスの製造を電炉から転炉に前進させた次第でした。其後四七年末日重化系列の柏化学工業に社長として出向、経営と新分野の開発に当りました。以後考える事もあり五二年夏柏化学工業社長を退任、日重化顧問兼千葉工大講師の過程をへて本校に参りました。之から皆様と御一緒にアニンや金属を読み耽った初心にかえつて勉強してゆきたいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。

入学志願者数の状況

教務 主事

全国高専の入学志願者数は、昭和49年以来、それまで下降していたのが、年ごとに漸増している傾向です。

本校の分については、本年度分も加えて別表の通りです。

最近、中学校の先生方や、御父兄達の高専教育全般に関する照会、教務主事との面談などがとみに多くなり、志望者の視察も目立つようになりなりました。このことは、高専への関心と理解がより深まったことと関係者一同喜んでおります。

さきの入試説明会の際に、ある中学の校長先生が「高専卒の教え子は挨拶によく来てくれるが、大卒は違う。その様なことから生徒に高専を奨めるのだが、親達は高専への理解が薄いようだ。こんな場合に、高専側としては、どの様に説明したらよいかを教えてください」との質問がありました。

このことについてお答の最後は「まあとめてとして「永い目で見て、高専卒業生を見守り、その上の判断をお伝え下されば結構です」と申しました。

卒業生諸君ともども、企業関係の方にもよろしくお願ひ申し上げます。

昭和49～54年度入学志願者数		49年	50年	51年	52年	53年	54年
学 校	機 械	61人	97人	88人	86人	104人	90人
	電 気	1,520人	2,480人	2,280人	2,280人	2,040人	2,380人
工 業 学 科	機 械	74人	125人	116人	126人	134人	133人
	電 気	1,980人	3,180人	2,980人	3,280人	3,480人	3,880人
建 築 学 科	機 械	59人	69人	72人	68人	64人	56人
	電 気	1,580人	1,780人	1,880人	1,780人	1,580人	1,480人
計	機 械	111人	92人	130人	149人	144人	154人
	電 気	3,560人	3,830人	3,360人	3,290人	3,490人	3,930人
合 計		3,671人	4,760人	4,690人	4,439人	4,634人	4,088人

献血報告

例年行われている献血は今年度は昨年11月15日(水、福岡の日赤から採血車が来て実施された。工業製品では代換できない貴重な血液が多くを救命に救うことになること、思ひ、応募した学生に心から謝意を表する次第である。

尚、学生、教職員の献血者は二百六名であった。

昭和53年度 下宿主との懇談会

学生 主事

心身ともに成長しつゝ、ある学生にとつて学校は最も重要な存在であることはもとよりですが、学校から帰つてからの家庭生活もこれに劣らぬ大事な要素となつていくことは云々までもないことです。また、家が遠隔の地にあつて通学できない学生には寮が用意され、そこでは寮務主事の指導のもとに規則正しい生活が行われてい

るときは一人前として認められるような生活です。ここでは、一般には親がするような生活に対する細い干渉はありません、寮のよう

ざつぱらんの話のなかに、下宿主の方の親御さんと変なぬお気がよく判り、心から感謝するとともに、下宿生も大部分は心配する程のことはいないと思ひました。

た、一部には注意を要する学生もあるようで、今後の指導に役立てたいと思ひています。

有明高専図書館だより 29

「きつかけ」について思う

図書館長 池本 憲義

己未(つちのとひつじ)の年を迎えて半には関係ない事だが、思いつくまま少し述べてみたい事がある。およそ世の中で我々が何かの行動をおこさんとするとき、その「きつかけ」がよくあるものである。

学生諸君がこの有明高専に入学して工学を習ひ、勉強しようと思いついたのは、どんなきつかけであつたか、思ひおこしてみたい。中学の先生の勧め、親のすすめなど他動的なもの、または自動的に何か自分で思ひ当ることがあつたのではないかと。

さて、それについて私自身の現在ある姿は、何のきつかけでなつたかを思ひおこしてみると、小学校の頃にかかると、小学校何年生の時であつたか忘れてはつきりしないが、相手になられた先生は覚えていた。たしか理科の時間に水の話があつた。水は方向の

うつわに従うたところであり、また水の表面は普通、水平で平面であるが、水の性質について先生から質問をうけたとき、私の答は「水の表面は中心が高く周辺が低い(球面をなして、その球面の一部分である)」と、先生が之に対してどう説明されたか覚えていないが、要するにこれは、いつの日か海岸に行つて海を眺めた時の記憶で、地球は丸くてその一部である海の面は球面である。地球の一部分である水の表面は球面の極く一部であるから、以上の説が成り立つものと思ひたい。

工学的には普通の場合、水の自由表面は水平であり平面であるが、これを数学的に球面を細分したら平面になるかどうか、数学的解釈などについては、ここではその道の人にゆずるとしよう。

私にとつては、これが一つのきつかけとなつて、旧制の中学に進んで

昭和54年度 修学旅行

昭和54年度の修学旅行日程の大概がきまつたのでお知らせします。但し、機械工学科、工業化学科、建築学科の引率教官名、及び、建築学科の京都での宿は未定です。

機械工学科

5・21 大牟田発 8・00 福岡

工業化学科

5・21 大牟田発 17・20 (車中泊)

建築学科

5・21 大牟田発 20・52 (車中泊)

5・22 (一日自由行動) 東京泊

5・23 大町8・30 松本9・55

5・24 名古屋8・53着 (大町山泊)

5・25 名古屋8・53着 (大町山泊)

5・26 名古屋8・53着 (大町山泊)

5・23 宿8・30 新宿10・00

5・24 宿8・30 都内見学

5・25 宿8・30 都内見学

5・26 宿8・30 都内見学

5・27 宿8・30 都内見学

5・24 宿8・00 扇沢 黒部ダム

5・25 宿8・00 扇沢 黒部ダム

5・26 宿8・00 扇沢 黒部ダム

5・27 宿8・00 扇沢 黒部ダム

5・28 宿8・00 扇沢 黒部ダム

5・25 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・26 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・27 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・28 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・29 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・26 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・27 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・28 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・29 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・30 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・26 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・27 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・28 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・29 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・30 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・26 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・27 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・28 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・29 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・30 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・26 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・27 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・28 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・29 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・30 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・26 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・27 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・28 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・29 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・30 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・26 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・27 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・28 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・29 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・30 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・26 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・27 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・28 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・29 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

5・30 宿8・00 清水寺、大徳寺、金閣寺、嵐山、映画村、二条城

教室通信



機械工学科

- 吉田慈夫君 43機 ◎転居 125 東京都葛飾区水元小
合町1701-18-1-237
- 河口 昭君 44機 ◎転居 272 市川市南八幡3-23
-30
- 寺岡和夫君 44機 ◎890 鹿児島市武町933
TEL 0992-56-7281
- 松森秀章君 44機 ◎513 鈴鹿市国府町80 国府寮
- 藤本 孝君 44機 ◎803 北九州市小倉南区大字徳吉
字六反田371-13 TEL 093-0451-2116
- 森田博己君 46機 ◎859-06 長崎県西彼杵郡長与町
丸田郷10 三菱アパート3-307
- 古賀誠一君 46機 ◎980 仙台市幸町3-4-15
サンライフ高嶺107号
- 西山幸典君 47機 ◎664 伊丹市寺本公団1-3-1
- 香田時彦君 48機 □大和ハウス工業(福岡工場)
鞍手郡鞍手町新延448-2 TEL 09494-2-2211~8
◎807-13 鞍手郡鞍手町新延448-2
- 高橋雅弘君 49機 ◎転居 312 茨城県勝田市三反田
3326 県営三反田アパート1-2-9
- 池田直哉君 49機 ◎227 千葉県柏市篠籠田1401-28
- 平山健治君 49機 ◎811-32 奈良県福間町大字津丸
1570-81 2011号
- 米村 誠君 49機 ◎675-23 兵庫県加西市北條町北
條150 三洋北條寮
- 伊津野 修君 50機 ◎560 豊中市南桜塚2-13-1
日立造船寮
- 小松博文君 50機 ◎836 大牟田市上白川町1-372
- 坂井尚延君 50機 ◎651-12 神戸市北区西大池2-
13-1 大池寮
- 内野智典君 53機 □福岡市役所(内定)
◎816 福岡市博多区元町2-9-1 ローレルハイッ
- 坂本真治君 53機 □転勤 ◎800-03 京都府羽田町
富久1-17-1 羽田寮
- 下野領一君 53機 □泊医院 ◎892 鹿児島市坂元
町2374-12
- 白木満雄君 53機 ◎861-03 鹿本郡鹿本町握屋1379
- 平 逸郎君 53機 ◎869-46 熊本県八代郡宮原町18
- 西畑 仁君 53機 □寿屋八代店 ◎869-51 八代市
水島町2081
- 古田幸男君 53機 □総合警備保障 ◎227 横浜市緑
区千草台23-7 千草寮

●前田孝一君 53機 ◎590 堺市旭ヶ丘北町1-24
ダイキン工業誠月寮

電気工学科

- 今泉祐次君 50電 53年10月22日結婚 新婦園子さん
新居 ◎658 神戸市東灘区深江北町二丁目3-23
- 松田 司君 46電 53年12月1日転職 福岡大学施設
課 ◎814 福岡市西区大字七隈584
- 第8回生同窓会 1月2日旭町「ステーションガーデ
ン」に於て行われた。出田義憲君他10数名
- 第10回生同窓会 1月3日栄町「大和路」に於て荒木
三知夫先生を囲んで行われた。石川 修君他10数名

工業化学科

- 田辺伊佐雄先生 本校工業化学科に教授として就任さ
れました。詳細な経歴は別載の「新任の御挨拶にかえ
て」を参照して下さい。趣味はゴルフ・海釣りなどだ
そうです。
- 新春2日 同窓会が9回生十数名と関係の先生方数名
の出席で行なわれました。会の途中より10回生の女性
も加わり盛会でした。
- 計報 48年工業化学科卒、中山真知子さんは、2月12日
自宅において不慮の事故に遇い逝去されました。こ
こに謹しんでご冥福をお祈りいたします。

建築学科

- 山口光臣先生 約3ヶ月半にわたるヨーロッパ研修を
終え11月2日元気に帰国されました。
- 新谷肇一先生 11月8日三女珠央(たまお)ちゃん誕
生、おめでとうございます。
- 木下数則君 48建 11月3日結婚 新婦葉子さん
新居 ◎567 茨木市沢良宣東町9-12
- 川添忠司君 史さん(旧姓徳永) 52建 11月5日結婚
新居 ◎846-13 佐賀県東松浦郡肥前町中浦967
- 池松浩一君 48建 □戸田建設 12月5日ビルマ、ラ
ングーンに出張
- 村上義幸君 50建 1月4日結婚 新婦恵子(旧姓竹
田・49化学)さん
- 1月2日建築学科同窓会が大牟田ステーションガーデ
ンにて行われ、48建(9)、49建(11)、50建(17)、51建
(16)、52建(2)、53建(22)の約77名、並びに、松島、
玉野、吉岡、新谷の各先生が参加され、盛大でした。
尚、当日も含め、板井・大津・甲斐君(4期)及び、
寺岡(1期)、目野(2期)、吉川(3期)、山下(4期)、
加藤(5期)、福原(6期)君、以上9名の幹事、各期
連絡員の方々にお世話戴きました。御苦労さまでした。

工業化学科

- 赤星 浩 長岡技術科学大学
菅生 洋子 大日本インキ化学工業
上野 弘志 久屋酒販
上原 祐子 大日本インキ化学工業
内田 信吾 朝日レックスコンサルタント
梅崎 良介 日本科学冶金
大城 雄一 東亜鉄構
大崎 正幸 東洋焼鈍
古賀 光一 松下電器産業
古財 和美 山崎組
境 宏之 岩倉印刷紙業
末竹 裕幸 ゼネラル電工
杉本千代喜 奈良油脂工業
瀬戸口昭生 武蔵塗料
高島 龍一 原口喜代美

機械工学科

- 青柳 洋一 三菱自動車工業
池田 幸正 自動車電機工業
大塚 正 松下電器産業
上野 茂 熊本経済連合会
江藤 憲吾 九州三菱自動車販売
大森 豊春 富士電気化学
小野 稔 プレス工業
小嶋 秀明 ダイキン工業
堀 義明 三井鉱山
島崎 敬祥 大橋商会
島田 世紀 バルコトレンクカンパニー
上土井聖也 本田金属技術
杉本 勝茂 大牟田市役所
鈴木 俊行 九州大日本印刷
竹下 祐次 東芝エンジニアリング
中川原信也 河村電器産業

昭和54年3月



卒業予定者の進路

54・1・31現在

※ゴチックは進学

- 立野 文夫
田中 直子
塚本 妙子
中村 靖代
中村 浩
長谷川陽子
原口喜代美
原口峰子
ナリス化粧品
矢田 逸郎

- ダイエー
ナリス化粧品
山崎組
大谷塗料
松尾 泰美
松尾 津多子
水田 典夫
三瀬 誠一
村上 政明
八千代工業
極東機械製作所
三小田善行

建築学科

- 伊藤 利彦 国武建築設計事務所
井上 研二 旭化成ホームズ
宇治川啓三 中村建築社
浦 敬治 大崎建設
浦 誠司 日本道路公団
江口 剛 アドテックデザイン
川越 俊一 豊橋技術科学大学
国武 正義 大坪建設
熊川 千尋 清水建設
佐々木長利 大橋商会
佐藤 寿一 自営
佐藤 正勝 日本国有鉄道
佐藤 通孝 新日本製鐵

学生会新役員紹介

- 田山会長以下、旧役員の任期満
了に伴って新役員が、例年通り、
球技大会を境に交替したので紹介
する。
- 会長 4M 畑野 順二
副会長 4M 野間口勝康
副会長 4C 浜 利一
副会長 4C 池上 昭
文化局長 4C 松崎 剛正
報道局長 4A 福 知
風紀委員長 4M 宮原 茂
書記 4C 松原 副武
会計 4A 福 知
庶務 4A 福 知

工場見学

- 11月16・17日 建2年
島原ユースホステル
- 11月16日 機3年
プリダストンタイヤ・九州工業
技術試験所
- 11月21・22日 建4年
佐賀県立博物館・佐賀県立図書
館・親和銀行・日本26聖人殉教
記念館
- 11月27・28日 機2年
本田技研工業大津工場・日本オ
イル・九州電力八丁原地
熱発電所
- 11月30日 機4年
日立造船有明工場・九州不二サ
ッシ
- 12月5日 工化4年
三井東洋化学
- 12月6日 電5年
九州電力新港発電所
- 12月13日 機5年
九州電力新港発電所
- 1月24日 電5年
大牟田電報電話局
- 1月31日 電5年
大牟田電報電話局
- 2月9日 電3年
九州工業技術試験所・大電佐賀
工場
- 高専実行委員長 4M 塩塚 信
の諸君である。今後の活躍を期待
する。

学寮だより

一月二十一日、朝から心配された雨も降らず本校グラウンドでサッカー大会が、武道館において成人祝賀会が催された。

寮生サッカー大会・成人祝賀会

優勝 銀杏棟二階
準優勝 若葉棟(二年)
敗者復活優勝 若葉棟(一年)
敢闘賞 銀杏棟二階
寮生主事賞 銀杏棟二階

題材を取り上げて話されたあと、寮生主事、学生課長の祝辞。挨拶のあと、プログラムは余興に入り順番が進むにつれて武道館内は盛り上がり、一年生による漫才、ピンクレディのものまねなどは表情豊かなもので、成人を迎えられた五年生を笑わすには十分であったろう。

最多得点王(4点) 4M水気
ファインプレー賞 5E鬼塚
個人賞 2A山本
サッカー大会が終了し、武道館で成人祝賀会があり成人者に紅白饅頭が渡された。そして成人者を代表して、5A田中さんが成人者になった感想を述べられた。学校長の「御目出度い」という言葉で締められた。

池田幸正、青柳洋一、小野 稔、上土井聖也、鈴木俊行、中武万能、上原重信、鶴 大、泉 秀隆、鬼塚恭二、新谷隆行、杉本政一、松岡輝光、森下真也、吉村幸由、渡辺清樹、赤星 浩、伊藤利彦、浦部誠司、江口 剛、佐々木長利、佐藤寿一、佐藤通孝、田中幸助、谷沢俊範、福山照郷、松田 忍、峯 雅彦、吉川 潔、大箱達也、実松康男、船津智彦。
以上三十二名

最後に、サッカー大会及び成人祝賀会を行うに当たり、準備、その他に御協力、御指導して下さい。体育科の諸先生方、寮務係の皆様方、それと寮母さんに厚くお礼を申し上げます。
記 娯楽局長 上妻公了

冬季球技大会を振り返って

前体育局長 松本憲二

(S53.11.29)

我々、五年生にとっては最後の球技大会であったが、ケガ人が出たことが、残念でならなかった。今まで一年間、球技大会、体育祭と、企画・運営を行ってきた。同じ失敗をくり返すばかりで、反省するところが多かった。今回の球技大会においても、審判側との打ち合わせが不十分であったり、集合状態の悪さにおいては、毎回の課題であり、一部の学生の為に大

このマンネリ化を打破するのは、学生諸君の活発的な行動力と、積極的な前向きな姿勢であることを十分認識してほしいと思います。これから先も、体力の向上を目指し、学生諸君一団となって大会を盛り上げていって下さい。最後に、大会運営に当たり、お世話になった審判の学生諸君、及び、放課後、各コートを提供してくれた各クラブ、体育諸教官の方々に深く感謝の意を表します。

53年度九州A地区ラグビー大会は、佐世保高専で行われた。前半松本(5A)が、ペナルティゴールを決め、3点の先取をえたが、後半、野間口(4M)が、頭から転倒し、一時は、重傷かと危ぶまれる事故があり、その後、チームの不調を来し、遂に3対17で苦杯を嘗めた。

なお、ここで、この大会の為に先輩から、多額の援助を得ましたことに、深くお礼申し上げます。

ラグビー部報告

我々、五年生にとっては最後の球技大会であったが、ケガ人が出たことが、残念でならなかった。今まで一年間、球技大会、体育祭と、企画・運営を行ってきた。同じ失敗をくり返すばかりで、反省するところが多かった。今回の球技大会においても、審判側との打ち合わせが不十分であったり、集合状態の悪さにおいては、毎回の課題であり、一部の学生の為に大

このマンネリ化を打破するのは、学生諸君の活発的な行動力と、積極的な前向きな姿勢であることを十分認識してほしいと思います。これから先も、体力の向上を目指し、学生諸君一団となって大会を盛り上げていって下さい。最後に、大会運営に当たり、お世話になった審判の学生諸君、及び、放課後、各コートを提供してくれた各クラブ、体育諸教官の方々に深く感謝の意を表します。

53年度九州A地区ラグビー大会は、佐世保高専で行われた。前半松本(5A)が、ペナルティゴールを決め、3点の先取をえたが、後半、野間口(4M)が、頭から転倒し、一時は、重傷かと危ぶまれる事故があり、その後、チームの不調を来し、遂に3対17で苦杯を嘗めた。

なお、ここで、この大会の為に先輩から、多額の援助を得ましたことに、深くお礼申し上げます。

第10回定期演奏会を終えて

第10回吹奏楽部定期演奏会は、去る一月二十七日(土)、例年どおり大牟田市民会館で開催された。昭和45年に第1回を開催してから、毎年一月の終わるか二月初めに開催して来た。今回は、第10回ということ、実行委員をはじめ、部員の気持ちにも、例年とは違ったものが感じられた。

去る二月の初めから今回の演奏会のことについて慎重に検討して来た。曲目の選択、予算案の作製、プログラムの編集、ポスターの作製等をはじめ、その他色々な仕事がたくさんあって、どれから手をつけていいのかわからず迷った。前期中に選曲を済ませるつもりが、以外と長びいた。その為他の仕事への取りかかりが遅れてしまい、年が明けてからは、体がいくつあっても足りない日が続いた。

定演まであと二週間となった十六日から、夜間練習にはいった。例年と違い、演奏会の期日が一週間早いということで、夜間練習も一週間早くはじめたわけである。夜間練習がはじまってからは、部員たちも、演奏会が近いということを感じ、クラブの雰囲気も変わって来た。しかし僕自身は、あせりを感じていた。というのは、まだまだやり残しの仕事があったからだ。また二週間が過ぎた。

我々、五年生にとっては最後の球技大会であったが、ケガ人が出たことが、残念でならなかった。今まで一年間、球技大会、体育祭と、企画・運営を行ってきた。同じ失敗をくり返すばかりで、反省するところが多かった。今回の球技大会においても、審判側との打ち合わせが不十分であったり、集合状態の悪さにおいては、毎回の課題であり、一部の学生の為に大

このマンネリ化を打破するのは、学生諸君の活発的な行動力と、積極的な前向きな姿勢であることを十分認識してほしいと思います。これから先も、体力の向上を目指し、学生諸君一団となって大会を盛り上げていって下さい。最後に、大会運営に当たり、お世話になった審判の学生諸君、及び、放課後、各コートを提供してくれた各クラブ、体育諸教官の方々に深く感謝の意を表します。

53年度九州A地区ラグビー大会は、佐世保高専で行われた。前半松本(5A)が、ペナルティゴールを決め、3点の先取をえたが、後半、野間口(4M)が、頭から転倒し、一時は、重傷かと危ぶまれる事故があり、その後、チームの不調を来し、遂に3対17で苦杯を嘗めた。

なお、ここで、この大会の為に先輩から、多額の援助を得ましたことに、深くお礼申し上げます。